

日本の食生活における異文化間コミュニケーションについての 予備調査報告：福岡県内在住の留学生の例から

津田 晶子

Preliminary Survey on Intercultural Communication through the Japanese Diet : Case Studies of International Students Living in Fukuoka Prefecture

Akiko Tsuda

(2012年11月30日受理)

研究要旨

本プロジェクトでは、食の国際交流の現場で活用する「日本の食文化とマナーを英語で解説する日英版ハンドブック」開発に向けて、福岡県在住の外国人留学生（長期、短期）と、ホームステイ経験者（受け入れ側ファミリーと海外からの参加児童引率者）を対象に、日本の食生活における異文化間コミュニケーションについて、日英両言語による調査1. 日本の食生活におけるコミュニケーション調査（質問紙調査、外国人留学生対象）、調査2. 食事記録調査（外国人留学生対象）を元に多角的なニーズ分析、調査3. メールによる意識調査（海外からの参加児童引率者）、調査4. インタビュー（受け入れ側ファミリー対象）を実施した。本稿では、このプロジェクトのうち、調査1の概要と結果について扱う。調査1では、福岡県内在住の大学、大学院の留学生を対象に、日本での食生活についての嗜好性や言語コミュニケーションの問題について検討するため、任意の質問紙調査を実施した。この予備調査を元に、1. 一般市民を対象にした公開講座「食文化を通じた英語コミュニケーション入門」、大学英語教員を対象にした「食文化を通じた英語コミュニケーション入門：英語教員向けワークショップ」で啓発活動をし、2. 福岡市内の三大学の学生の協力を得て、「留学生に紹介したい和食レシピ集」を作成した。なお、本研究プロジェクトでは最終的な提案であるハンドブックの開発を目指す。

はじめに

2005年に食育基本法が制定され、基本的施策の

一つに「食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進」（下線筆者）がある。日本に長期的に滞在する外国人を対象に、宗教や文化などによる食生活の違いが、どのように、学校・職場・家庭生活での言語コミュニケーションに影響を与えるか、調査を行い、食育を通じた国際交流を提案し、地域の国際化に貢献することを目的として、研究プロジェクトを開始した。先行事例の研究として、国内の同種のプロジェクト（大分県立看護科学大学、卒業制作『在日外国人のためのガイドブック』）について、聞き取り調査を実施した。

I. 方法

1. 調査の対象者、方法

平成23年4月～7月に、福岡市内の3大学・大学院に在籍する中村学園大学、九州大学、西南学院大学の留学生を対象に、質問紙調査を実施した。調査は任意参加とし、78人が参加した。質問紙は日本語、英語と二つを準備し、回答者の得意な言語で答えてもらうようにした。中華人民共和国出身の留学生は全員が日本語の質問紙を選択し、それ以外の留学生は全員が英語の質問紙を選択した。

英文の自由記述に関しては、食物栄養英語やセミナーの授業の一環として、個人情報漏えいしないよう留意しながら、学生に英文の入力と和訳を担当させ、筆者がすべて最終的な確認をした。

集計・分析は、集計・分析ソフト「Excel 太閤V5」（㈱エスミ）にて行い、自由記述は、テキストマイニングツールのクラスタリング機能を使って分類した。

国籍については、対象者の5割超が中華人民共和国出身（図1）で、第一言語が中国語（図2）と回答している。性別については「男性」35名（44.9%）、「女性」38名（48.7%）、（無回答5名）（図3）となっている。

2. 調査内容

質問項目は以下のとおりである。

- Q1 回答者の属性について
- Q2 好きな日本の食べ物（最大3つまで、自由記述）
- Q3 嫌いな日本の食べ物（最大3つまで、自由記述）

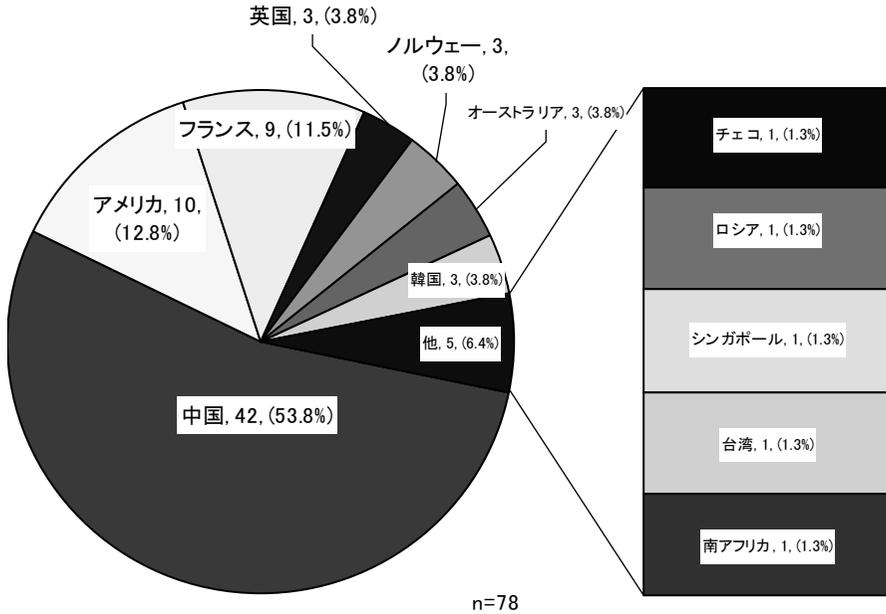


図1 調査対象者の国籍

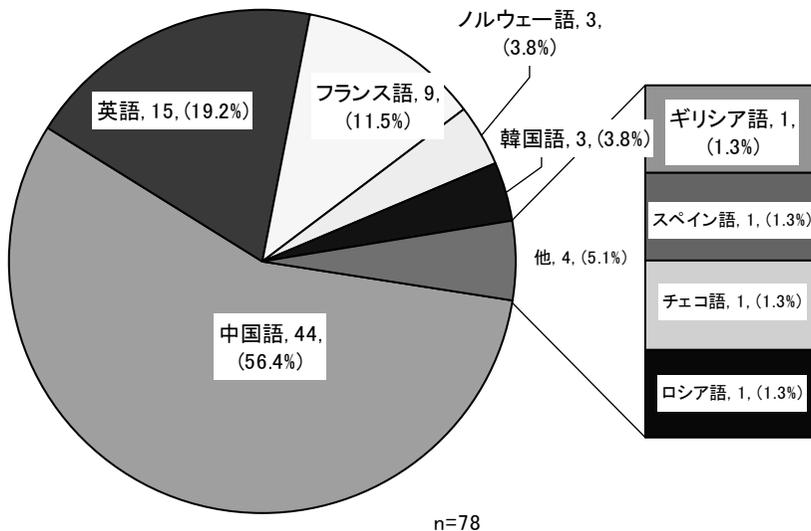


図2 調査対象者 第一言語

- Q 4 母国で食べていたもので、日本で入手できずに困った経験の有無、あれば、その状況を説明
 Q 5 外食や食品の購入で日本人とのコミュニケーション（会話）で困った経験の有無
 Q 6 日本の食文化で疑問に思っていること、わからないことがあれば、自由に記述

II. 結 果

1. 好きな食べ物について（料理・食品）※3つまで複数回答可

好きな日本の食べ物（料理・食品）を最大3つまであげてもらった、「寿司類」が48.7%と最も多く、次いで、「ラーメン」35.9%、「刺身」26.9%、「焼き肉」17.9%、「鍋もの類」15.4%、「菓子類」12.8%、「天ぷら」10.3%、「味噌汁」10.3%、「お好み焼き」10.3%、「丼もの」9.0%との回答が得られた。中国と、中国以外の国・地域で「好きな日本の食べ物」を比較すると、中国では「寿司類」が50.0%、「刺身」45.2%、「ラーメン」33.3%、「鍋もの類」23.8%、「天ぷら」16.7%。中国以外の国では、「寿司類」47.2%、「ラーメン」38.9%、「お好み焼き」19.4%、「丼もの」19.4%、「カレーライス」16.7%、「ごはん類」16.7%、「焼き肉」

16.7%となっている。以上より、中国と中国以外の出身国では、好きな日本の食べ物に違いがあることが分かる。

中国と、中国以外の国と、「好きな日本の食べ物」のクロス集計から、地域によりどのような違いがあるかをみるためにコレスポネンズ分析を行った。各地域の近くに位置している食べ物がその地域の留学生が好きな日本の食べ物である。グラフの中心に近い「寿司類」、「丼もの」は、中国、ヨーロッパ、アメリカで好きな人が多く、地域別に好きな日本の食べ物を分類すると次のような傾向が分かる。

中国…「刺身」、「鍋もの類」 ヨーロッパ…「ラーメン」、「焼き鳥」 アメリカ…「トンカツ」、「たこ焼き」 中国以外のアジア…「すき焼き」、「焼き肉」、 オーストラリア…「魚類」、「餃子」、「そば」

2. 嫌いな日本の食べ物（料理・食品）

嫌いな日本の食べ物（料理・食品）を最大3つまであげてもらった。「納豆」が37.2%と最も多く、次いで、「刺身」10.3%、「寿司類」9.0%、「天ぷら」6.4%、「うどん」6.4%、「魚類」5.1%、「揚げ物」3.8%、「菓子類」3.8%、「タコ」3.8%、「明太子」3.8%との回答が得られた。

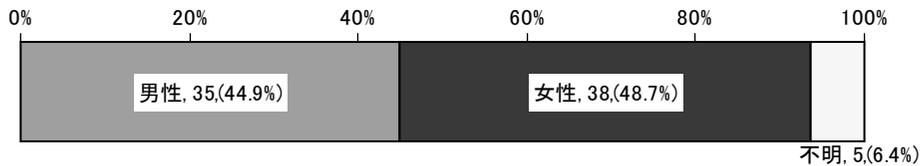


図3 調査対象者 性別

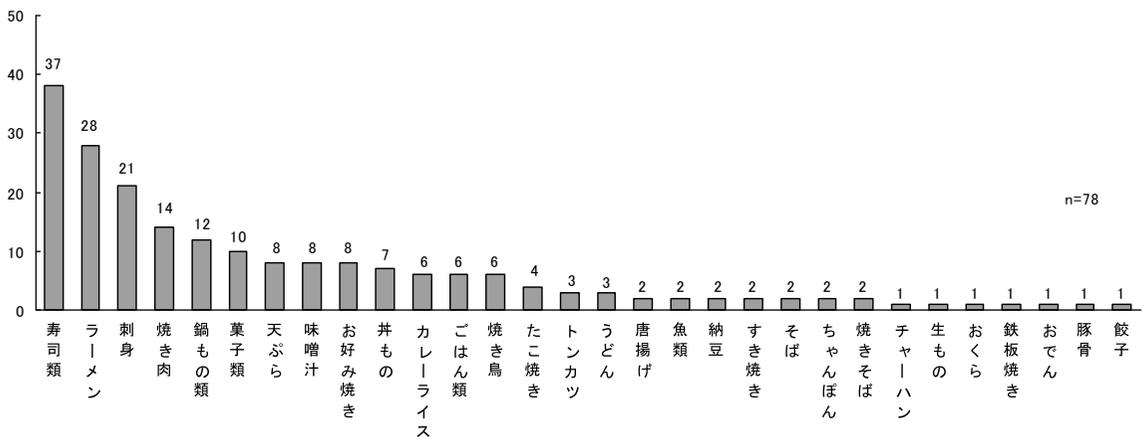


図4 留学生の好きな食べ物

表1 留学生が好き食べ物 国籍別比較

	合計	好きな日本の食べ物								
		唐揚げ	トンカツ	天ぷら	菓子類	カレーライス	チャーハン	ごはん類	魚類	
全体	78	2	3	8	10	6	1	6	2	2.6
100.0	100.0	2.6	3.8	10.3	12.8	7.7	1.3	7.7	2.6	
国籍										
アメリカ	10	0	2	1	1	2	1	3	0	0
100.0	100.0	0.0	20.0	10.0	10.0	20.0	10.0	30.0	0.0	0.0
英国	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
フランス	9	0	0	0	2	1	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
チェコ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ノルウェー	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ロシア	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
オーストラリア	3	0	0	0	0	0	0	2	1	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
シンガポール	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
韓国	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
台湾	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中国	42	2	1	7	6	0	0	0	1	0
100.0	100.0	4.8	2.4	16.7	14.3	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0
南アフリカ	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	合計	好きな日本の食べ物									
		生もの	刺身	寿司類	納豆	味噌汁	鍋もの類	すき焼き	そば		
全体	78	1	21	38	2	8	12	2	2	2	2.6
100.0	100.0	1.3	26.9	48.3	2.6	10.3	15.4	2.6	2.6	2.6	
国籍											
アメリカ	10	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
英国	3	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
フランス	9	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	44.4	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
チェコ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ノルウェー	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ロシア	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
オーストラリア	3	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0
100.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
シンガポール	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
韓国	3	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
台湾	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中国	42	1	19	21	2	5	10	1	0	0	0
100.0	100.0	2.4	45.2	50.0	4.8	11.9	23.8	2.4	0.0	0.0	0.0
南アフリカ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

表2 留学生が好き食べ物：中国人留学生とそれ以外の国・地域の留学生の比較

	合計	好きな日本の食べ物									生もの	刺身	寿司類	納豆	味噌汁	鍋もの類
		唐揚げ	トンカツ	天ぷら	菓子類	カレーライス	チャーハン	ごはん類	魚類							
全体	78	2	3	8	10	6	1	6	2	21	38	2	8	12	2	2
100.0	100.0	2.6	3.8	10.3	12.8	7.7	1.3	7.7	2.6	26.9	48.7	2.6	10.3	15.4	2.6	2.6
中国	42	2	1	7	6	0	0	0	2	19	21	2	5	10	1	0
100.0	100.0	4.8	2.4	16.7	14.3	0.0	0.0	0.0	4.8	45.2	50.0	4.8	11.9	23.8	2.4	0.0
中国以外の国	36	0	2	1	4	6	1	6	0	2	17	0	3	2	0	2
100.0	100.0	0.0	5.6	2.8	11.1	16.7	2.8	16.7	0.0	5.6	47.2	0.0	8.3	5.6	0.0	5.6

	合計	好きな日本の食べ物													
		すき焼き	そば	ちゃんぽん	うどん	焼きそば	お好み焼き	たこ焼き	おくら	ラーメン	焼き鳥	焼き肉	鉄板焼き	丼もの	おでん
全体	78	2	2	2	3	2	8	4	1	28	6	14	1	7	1
100.0	100.0	2.6	2.6	2.6	3.8	2.6	10.3	5.1	1.3	35.9	7.7	17.9	1.3	9.0	1.3
中国	42	1	0	2	1	1	3	1	1	14	3	8	0	0	0
100.0	100.0	2.4	0.0	4.8	2.4	2.4	7.1	2.4	33.3	7.1	19.0	0.0	0.0	0.0	2.4
中国以外の国	36	1	2	0	2	1	7	1	0	14	3	6	1	7	0
100.0	100.0	2.8	5.6	0.0	5.6	2.8	19.4	2.8	0.0	38.9	8.3	16.7	2.8	19.4	0.0

	合計	好きな日本の食べ物		
		豚骨	餃子	不明
全体	78	1	1	0
100.0	100.0	1.3	1.3	0.0
中国	42	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
中国以外の国	36	1	1	0
100.0	100.0	2.8	2.8	0.0

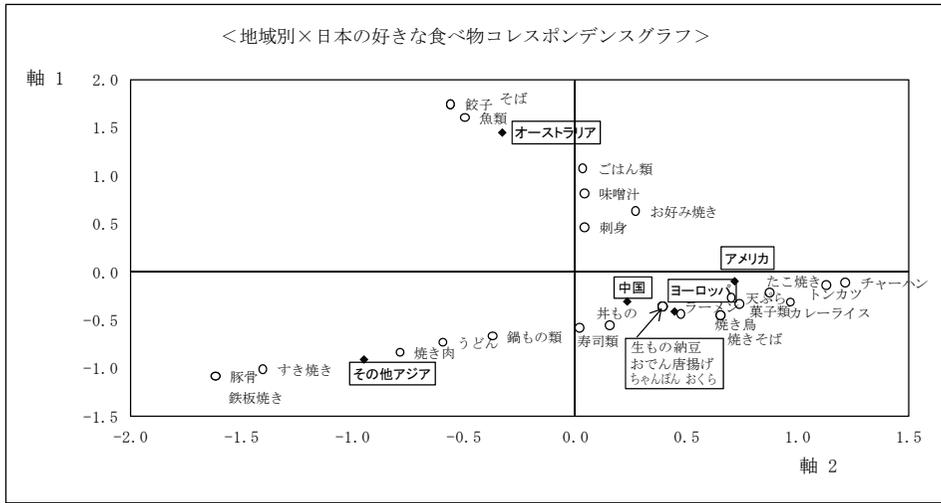


図5 地域別、好きな日本の食べ物

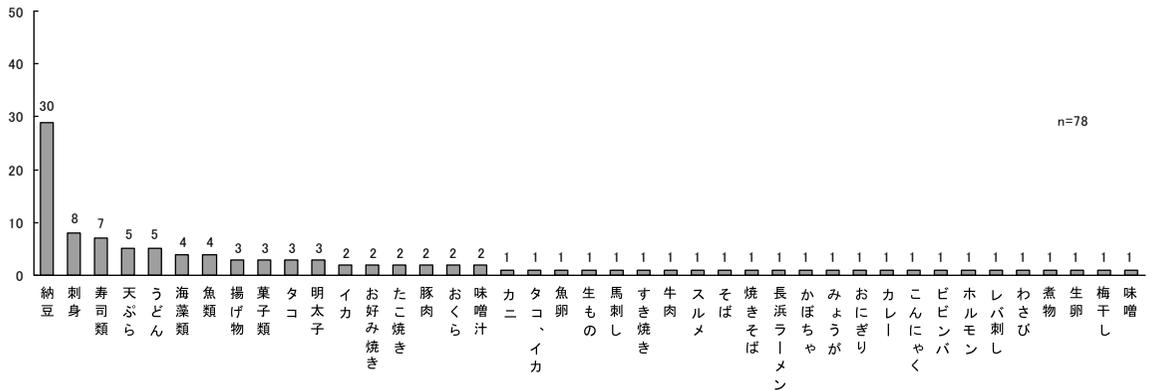


図6 嫌いな日本の食べ物

中国と、中国以外の国・地域で「嫌いな日本の食べ物」を比較する。多い順から、中国では「納豆」が38.1%、「刺身」14.3%、「天ぷら」11.9%、「うどん」9.5%、「揚げ物」4.8%、「海藻類」4.8%、「寿司類」4.8%、「明太子」4.8%、「おくら」4.8%であるのに対し、中国以外の国では、「納豆」36.1%、「寿司類」13.9%、「タコ」8.3%、「魚類」8.3%、「海藻類」5.6%、「菓子類」5.6%、「イカ」5.6%、「お好み焼き」5.6%、「たこ焼き」5.6%、「刺身」5.6%、「豚肉」5.6%となっている。

中国と、中国以外の地域と、「嫌いな日本の食べ物」のクロス集計から、地域によりどのような違いがあるかをみるためにコレスポンデンス分析を行った。各地域の近くに位置している食べ物がその地域の人が嫌いな日本の食べ物と言える。嫌いな食べ物

は上げられた種類は多数だったが、件数が少ないため、中心に近い「納豆」以外は、点在している。地域別に嫌いな日本の食べ物を見ると以下ようになる。

- 中国…「天ぷら」, 「レバ刺し」
- ヨーロッパ…「タコ」, 「カニ」
- アメリカ…「お好み焼き」, 「イカ」
- 中国以外のアジア諸国…「みょうが」, 「菓子類」
- オーストラリア…「明太子」, 「海藻類」

3. 自国で食べていたものを日本で入手できなかった経験

日本では入手できずに困った経験の有無については、「困ったことがある」37.2%、「困ったことはない」が61.5%となっている。

	合計	嫌いな日本の食べ物							
		長浜ラーメン	おくら	かぼちゃ	みょうが	おにぎり	カレー	こんにゃく	ピビンバ
全体	78	1	2	1	1	1	1	1	1
	100.0	1.3	2.6	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
国籍									
アメリカ	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
英国	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フランス	9	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
チェコ	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ノルウェー	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ロシア	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
オーストラリア	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
シンガポール	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
韓国	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
台湾	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中国	42	1	2	1	0	1	1	1	0
	100.0	2.4	4.8	2.4	0.0	2.4	2.4	2.4	0.0
南アフリカ	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

表4 留学生が嫌いな食べ物：中国人留学生とそれ以外の国・地域の留学生の比較

	合計	嫌いな日本の食べ物													
		揚げ物	天ぷら	海藻類	菓子類	イカ	カニ	タコ	タコ、イカ	お好み焼き	たこ焼き	魚類	魚卵	生もの	刺身
全体	78	3	5	4	3	2	1	3	1	2	2	4	1	1	8
	100.0	3.8	6.4	5.1	3.8	2.6	1.3	3.8	1.3	2.6	2.6	5.1	1.3	1.3	10.3
中国	42	2	5	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6
	100.0	4.8	11.9	4.8	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	2.4	14.3
中国以外の国	36	1	0	2	2	2	1	3	1	2	2	3	1	0	2
	100.0	2.8	0.0	5.6	5.6	5.6	2.8	8.3	2.8	5.6	5.6	8.3	2.8	0.0	5.6

	合計	嫌いな日本の食べ物												
		馬刺し	寿司類	すき焼き	牛肉	豚肉	スルメ	明太子	うどん	そば	焼きそば	長浜ラーメン	おくら	かぼちゃ
全体	78	1	7	1	1	2	1	3	5	1	1	2	1	1
	100.0	1.3	9.0	1.3	1.3	2.6	1.3	3.8	6.4	1.3	1.3	2.6	1.3	1.3
中国	42	0	2	1	0	0	0	2	4	1	1	1	2	0
	100.0	0.0	4.8	2.4	0.0	0.0	0.0	4.8	9.5	2.4	2.4	2.4	4.8	2.4
中国以外の国	36	1	5	0	1	2	1	1	1	0	0	0	0	1
	100.0	2.8	13.9	0.0	2.8	5.6	2.8	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8

	合計	嫌いな日本の食べ物													
		おにぎり	カレー	こんにゃく	ピビンバ	ホルモン	レバ刺し	わさび	煮物	生卵	納豆	梅干し	味噌	味噌汁	不明
全体	78	1	1	1	1	1	1	1	1	1	29	1	1	2	17
	100.0	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	37.2	1.3	1.3	2.6	21.8
中国	42	1	1	1	0	1	1	1	1	1	16	1	1	1	9
	100.0	2.4	2.4	2.4	0.0	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	38.1	2.4	0.0	2.4	21.4
中国以外の国	36	0	0	0	1	0	0	0	0	0	13	0	1	1	8
	100.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.1	0.0	2.8	2.8	22.2

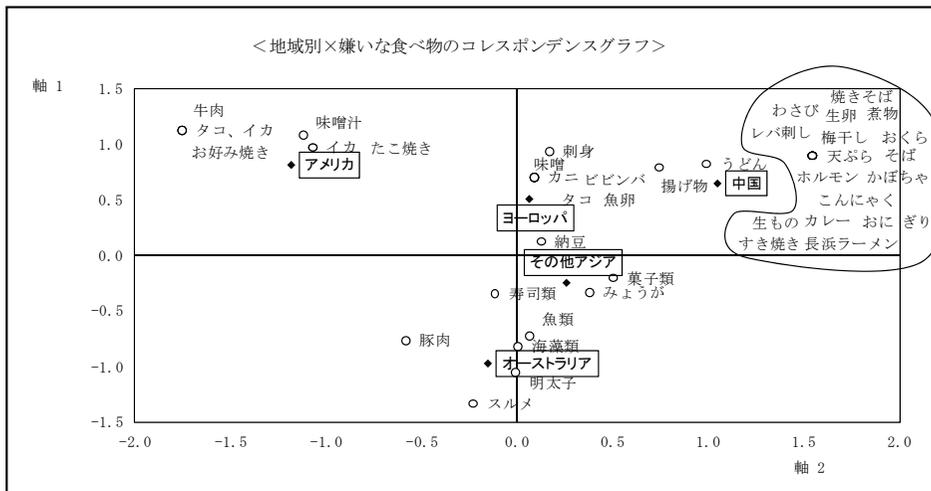


図7 地域別「嫌いな日本の食べ物」コレスポンデンス分析

表5 食品が入手できずに困った経験の有無

具体的な内容は表6のとおりである。

No.	カテゴリー名	n	%
1	困ったことがある	29	37.2
2	困ったことはない	48	61.5
	不明	1	1.3
	全体	78	100.0

表6 留学生が食生活で困ったエピソード

No	内 容	出身国
1	日本の場合は野菜の種類が少ない。中国の調味料も少ない。	台湾
2	お母さんの料理を食べたかった。ふるさとの屋台の料理も。	中国
3	ひつじ肉。	中国
4	やっぱり味。本場の中華風料理の味を味わいたい。	中国
5	私の出身地は中国の山東省です。地元の主食は小麦粉で作られた饅頭です。日本では饅頭がなかなか入手できず、それで困ります。	中国
6	春菜（日本の名が分からない）。	中国
7	食材は買えないので、作れない。	中国
8	中華薬膳スープを作るとき、食材、材料が足りない。	中国
9	中国の酢菜を食べたい。普通のスーパーはほとんど買えない。	中国
10	日本で販売されていないから。	中国
11	麻油、米純。	中国
12	羊肉。	中国
13	餃子。	中国
14	南アフリカっぽい材料などは、もちろん日本ではあまりありませんけど、せっかくの日本旅行ですから、日本料理を食べた方がいいじゃないですかね。	南アフリカ
15	近所にイタリア料理が見つからない。	アメリカ
16	すべてものが自分の母国と異なるので困る。本当に日本の食べ物を食べてみたいのだが、現在のところ、日本語を読めないため、自分が何か好きかを見つけるのが難しい。写真を見て決めるしかない。（途中不明瞭）来日したばかりのときは好きでなかった食べ物にも慣れた。（以下、不明瞭）	フランス
17	多くの食材はここでは手に入らない。空輸で取り寄せなければならない。	フランス
18	フランスで多くの食品を購入するのに慣れていたが、様々な種類の肉などが日本では見当たらない。	フランス
19	たとえば、メキシコ、フィリピン、ベトナムなど、異なる文化の様々な料理を探すのが難しい。	アメリカ
20	自分で料理をする。	チェコ
21	おいしいパンがない、ヌテラ ¹ が高い。野菜が多くない。	フランス
22	ノルウェーでは全粒粉のパンをたくさん食べる。私たちはたくさん肉を食べる。	ノルウェー
23	日本では、たとえ自分で調理するのに基本的な材料をかうのでさえ、イギリスや中国の食品を見つけるのが難しい。または、見つかったとしても、味が（本国とは）異なる。しかし、それでも、様々な食品を料理することはできる。自分としては、多くの異なる食べ物を食べようと思っている。	イングランド 英国
24	欧米風のレストランを見つけるのは簡単だか、高い。	フランス
25	日本の日常の食品はフランスの食品とまったく異なる。フランスで使っているものを探すのは非常に難しく、ほんの少しの量でも非常に高価な時がある。	フランス

¹ パンに塗る甘いスプレッド

1番～14番まで（中国，南アフリカ）は日本語で，15番～25番までの回答（その他）は原文は英語での回答ものを和訳した。日本語の表記については不自然なものもそのまま記載している。

次に，国別に，自国の食べ物を入手できずに困った経験をみる。中国では「困ったことがある」が31.0%，「困ったことはない」69.0%となっており，中国以外の国では「困ったことがある」44.4%，「困ったことはない」52.8%となっている。中国以外の国に比べ，中国の学生は「困ったことはない」と回答した割合が16.2ポイント高くなっている。

また，国籍を問わず，食材が入手しにくいこと，また，入手できても高価だったり，味が異なることが分かる。今回は福岡県内の留学生を対象にした調査であるが，外食産業の少ない地域に住む外国人はさらに食生活で困っていることが考えられる。

3. 外食や食べ物を購入する際に，コミュニケーションで困った経験

表7 日本人とのコミュニケーションでの困った経験の有無

No.	カテゴリー名	n	%
1	困ったことがある	12	15.4
2	困ったことはない	66	84.6
	不明	0	0.0
	全体	78	100.0

表7より，外食や食べ物を購入する際に，日本人とのコミュニケーション（会話）で困った経験があるかの質問に対して，「困ったことがある」15.4%，「困ったことはない」84.6%となっている。なお，この回答でも，中国出身の留学生以外は英語で回答している。

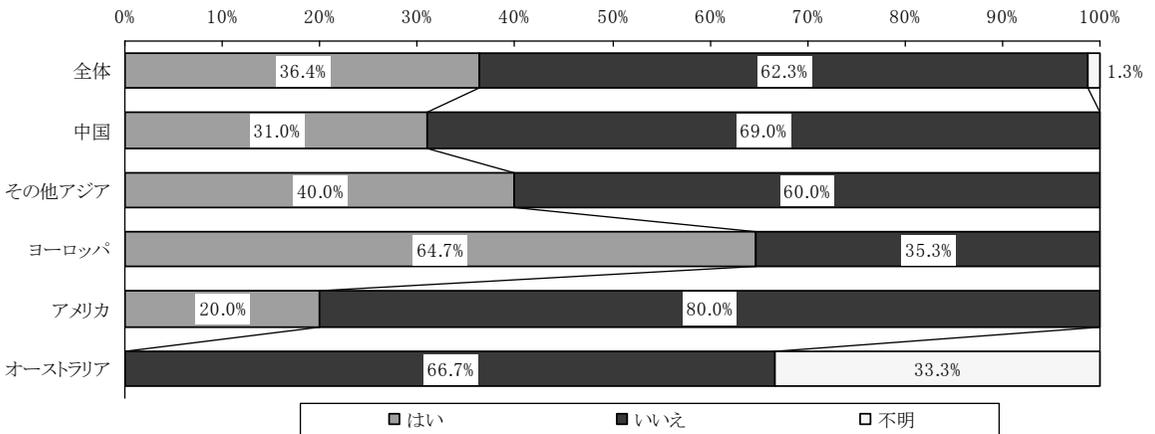


図8 地域別，自国の食べ物を入手できずに困った経験

表8 困った経験の具体的内容

No	内 容	出身国
1	日本に来たばかりのとき，日本の食べ物の読み方が分からないから，メニューを見て困った。	中国
2	日本語の問題。	中国
3	ナッツにアレルギーがあると行ったのに，レストランの店員がナッツが入ったものを出したため，中毒症状が出た。	ノルウェー
4	いつも言った通りの食べ物を手に入れることができるが，細かい点が難しい。たとえば，ラーメン屋で，香辛料，ラー油，ネギに苦情を言うことなどが難しい。	アメリカ
5	英語のメニューがないレストランがある。	ノルウェー
6	日本語力は低いため言っていることをすべて理解するのは難しいが，だんだん，自分の日本語がうまくなっている。	アメリカ
7	日本語話者は私の英語を理解することができなかった。	韓国
8	十分な語彙，文法，日本語を知らない。また，日本料理に対する知識が欠如している。	英国

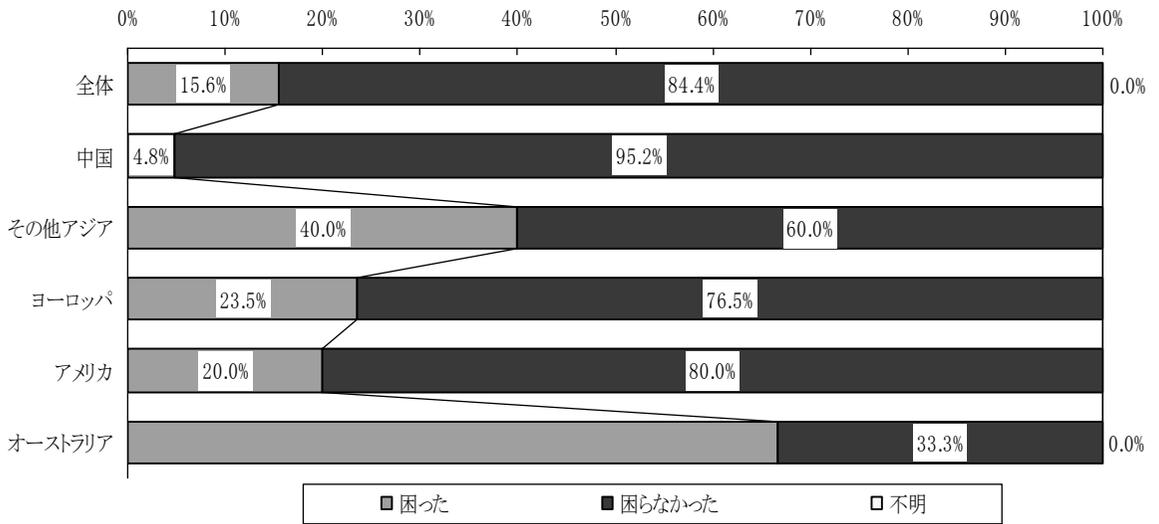


図9 地域別、日本人とのコミュニケーションで困った経験

中国と、中国以外の国別に、日本人とのコミュニケーション（会話）で困った経験を検討してみる。中国では「困ったことがある」が4.8%、「困ったことはない」95.2%。中国以外の国では「困ったことがある」27.8%、「困ったことはない」72.2%となっている。中国以外の国に比べ、中国の学生は「困ったことはない」と回答した割合が23ポイント高くなっている。

次に、自国の食べ物の入手や日本人とコミュニケーションを取ることに困難と感じた経験の有無に

ついて、出身国による関係を見るために、 χ^2 検定を行った。有意差判定確率は、次の基準で行った。

- [***] 有意水準0.1%で所属に寄与しているといえる
- [**] 有意水準1%で所属に寄与しているといえる
- [*] 有意水準5%で所属に寄与しているといえる
- [] 有意水準5%で所属に寄与しているといえない

項目名	項目名	χ^2 値	自由度	有意差判定確率	判定
中国と中国以外の国	Q3.入手できずに困った経験の有無	1.772	1	0.183	[]
中国と中国以外の国	Q4.コミュニケーションで困った経験の有無	7.888	1	0.005	[**]

χ^2 検定の結果から、国別（中国と中国以外の国）と、外食をしたり食べ物を購入したときに、日本人とのコミュニケーション（会話）で困ったことがあるという経験には有意な関連があるといえる。

4. 日本の食文化で疑問に思っていること、分からない点

日本の食文化で疑問に思っていることや分からないことを自由記述で書く欄を設けたところ、中国人出身の学生8人から回答があり、下記のような意見が挙げられた。

表10 日本の食生活への疑問

No	内 容	出身国
1	日本人は結構カツを食べますね。みんなカツ大好きですね。	中国
2	なぜ日本人は生もの好きですか。	中国
3	何で日本人は生ものが好きですか。甘いもの、揚げ物が好きですか。	中国
4	外食が高い。	中国
5	煮物はあり得ない。煮る物（油ない）と揚げ物（油すごい）。	中国
6	健康的、油が少ないのでよかった。	中国・上海
7	何で日本人は刺身が好き？	中国
8	日本の食は生で食べられる物が多いですね。	中国

中国人留学生に関する記述のみで、「刺身」や「生もの」に対する疑問が多くあげられている。これは、留学生の出身地や来日以前の食に関する経験（日本食や生ものを食べたことがない）に関係がある可能性もあるため、中国系出身者がすべてそうであるとは一概には言えない。

II. 考 察

今回の予備調査から、日本の食べ物の好き嫌い、食生活における困難やコミュニケーションの問題について、中国人留学生とそれ以外の国・地域の留学生では傾向が異なることが明らかになった。この調査においては、中国人留学生の出身地域や日本語能力とも関係があると考えられる。また、同じ国の出身でありながら、個人の嗜好には差があり、また、経験を重ねることによって、以前は食べられなかった日本食が食べられるようになったり、コミュニケーションがうまくいくようになったりすることが想像できる。よって、今回の調査の結果を過剰に一般化（overgeneralize）するのではなく、個々の事例として検討していくことが必要である。

地域社会で留学や就業といった長期的な目的で日本に居住する外国人が増え、食生活におけるコミュニケーションの問題は重要であるが、ほとんど研究されておらず、困難に直面している外国人が存在する。質問紙や食生活のレポートの自由記述に描かれたエピソードには、実際に外国人が日々、直面している問題についての記述が含まれており、大学などの留学生受け入れ先だけでなく、官公庁、学校やサービス業など、外国人と接することが多い機関にとって有益な情報と考えられる。

III. 研究プロジェクト全体の研究結果

この調査1と合わせ、調査2. 食事記録調査（外

国人留学生対象）、調査3. メールによる意識調査（海外からのホームステイプログラムへの参加児童引率者）、調査4. インタビュー（ホームステイ受け入れ側ファミリー対象）を実施し、プロジェクト全体を通じて、以下の3点が明らかになっている。

(1) 宗教的タブー、ベジタリアン、食物アレルギー、文化による調理方法の違いに関する日本人の理解不足

信条や信仰により、肉が食べられないことを「わがまま」であると考えていたり、「少しだけなら大丈夫だろう」と勧めたり、みりんや日本酒を「隠し味」として調味料として使ったりするといった例が見られた。

(2) 日本人の外食や家庭内の調理におけるジェンダーの問題（母親・女兒の家事労働の問題）

家庭内や外食の場で、料理をしたり、小さい子供に食事を食べさせたりするのは母親もしくは女兒の役目とし、父親や男児は何もしない、という指摘があった。

(3) 日本人と外国人の食文化を通じた国際交流のニーズ

日本に長期滞在する外国人にとって食の問題は重要であるが、日本人側の誤解も多いため、a. 教員、学生、一般市民と留学生が食を通じて交流する場の提供、b. 国際交流の場で活用する英日併記のハンドブック開発が有用である。

IV. 今後の研究活動と課題

本プロジェクトで得られた知見をもとに、公開講座「食文化を通じた英語コミュニケーション入門」を通じて、一般市民に対する啓発活動を行った。また、大学の英語の授業の一環として、中村学園大学、西南学院大学、九州大学の日本人有志学生による「留学生に紹介したい和食レシピ」の作成を実践し、研究成果を TESOL Convention 2012（於米国

フィラデルフィア)にて発表した。今後は、大学教育活動の一環として、栄養系学生と英文学学生、英語教員と専門教員、日本人教員と外国人教員といった様々な協業体制を確立したいと計画している。

この研究の結果をもとに、教育実践として、高等教育の場で、英語教育、日本語教育、異文化コミュニケーションの授業で活用する教材を開発する予定である。なお、今後も、授業内プロジェクトとして、学生が個人またはチームで「留学生に紹介したい和食レシピ」「留学生に伝えたい日本の食文化」を英語で作成し、成果物は「日本の食文化とマナーを英語で解説する日英版ハンドブック」の一部として活用する予定である。

謝 辞

アンケート実施に当たり、ご協力いただきました各大学、留学生、団体の皆様に、深く感謝を申し上げます。なお、本発表は、やずや食と健康研究所2010年度「食生活における異文化間コミュニケーションと語学ニーズ分析」の助成研究、および2011～2012年度中村学園大学短期大学部プロジェクト研究の成果の一部である。

研究・調査協力者一覧

大分県立看護科学大学 シャーリー・ジェラルド教授、中村学園大学、中村学園大学短期大学部、西南学院大学英文学部翻訳基礎履修学生、九州大学英語科授業法履修学生、九州大学留学生有志、西南学院大学留学生有志、元気日本語学校留学生有志、アジア太平洋子ども会議イン福岡

参考文献

「在日外国人のためのガイドブック」大分県立看護大学
http://www.oita-nhs.ac.jp/member/cat5_top/cat193/guidebooks_for_foreign_residen.html

平成24年9月12日閲覧

「食育基本法」厚生労働省 http://www8.cao.go.jp/syokuiku/data/pamph/html/syoku_suisin01.html

平成24年9月12日閲覧